

国内活動の例

日印音楽交流会創立年 1989 年以降、大変多くの企画がお陰様で実施できました。例として幾つかの場面をご紹介します。



妙義山にて日印音楽交流会
(下仁田町 2001)



日印交流年の共同公演
(高崎 2007)



日印交流年に文化庁後援の10公演から
(高崎 2007)



国際基督教大学「今月の卒業生」
(三鷹 2008)



来日奏者とインド祭
(横浜 2009)



温泉公演での愛妻との共演
(長野 2009)



ICS多言語教育国際学校にて移民学生の音楽集中講座
(玉村町 2010)



IJGPS 日印サミットに演奏
(新宿 2011)



日印音楽と自然環境の音公演
(六本木 2011)

インド・スリランカ・シンガポール 2012年1月23日～3月20日(60日間)

19 企画実施。



シンガポール国立大学芸術祭で
公演とワークショップ



ニューデリー日本人学校で
公演とワークショップ



スリランカ国立芸術大学で
公演とワークショップ

全インド音楽・教育企画 2010年12月16日～2011年2月20日(66日間)

インド南北に音楽祭・公演で名手演奏家との公演、在印アメリカ国際学校 AISC とインド総合学校 Rishi Vidyalaya Gurukulam にて客員教員で音楽・音文化の集中講習・演奏監修、ISS 国際会議やノーベル賞受賞者のご紹介で環境科学研究所 TERI にて発表・演奏、名門大学で教育方針会議にて参加、知的障害者施設にて支援演奏、日本の音楽者と研修旅行など、17 企画実施。



USA国際学校AISCで学生・教員・プロの舞台



ノーベル賞受賞のP博士と
環境資源研究所TERIで公演



公演後に大使、領事、議員、商工会議長と
(Bangalore市)



森奥の創造学園 Rishi Gurukulamの学生感激
(Andhra Pradesh)

全インド音楽・教育企画 2010年1月10日～3月3日(51日間)

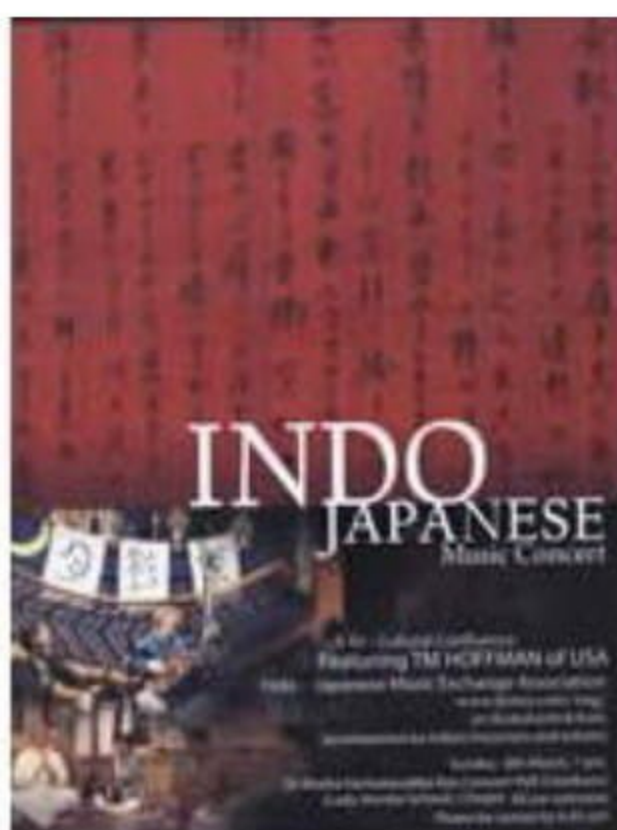
国立工業大学 IITB などの名大学にて演奏・講演、音楽祭・IIC 国際文化会館などで名手との共同公演、国際会議にて発表・演奏、貧困青少年 NPO や知的障害者施設にて研究・指導、報道機関インタビューなど、20 企画実施。

Sri Lanka & India 音楽・教育企画(41 日間)

2009 年 2 月 16 日～3 月 29 日、スリランカ航空後援と各地の機関共催によるスリランカとインドにて 22 企画実施。孤児院や知的障害者施設支援公演、在スリランカ米国大使館主催公演およびインド大使館主催公演、在インド日本大使館後援日本文化祭、国際会議にて発表や国立大学や音楽大学での講演・演奏・ワークショップ、現地の NPO との共同活動。



Kurunegala Sri Lanka
孤児院支援公演のポスター



Chennai, India (全国テレビ放送となった
日印米中の音楽舞踊共同公演のポスター)

在インド米国大使館主催公演旅行と国際会議の活動(32日間)

2008 年 7 月 12 日～8 月 13 日在インド米国大使館後援、インド航空協賛によるバンガローラ国際会議にて発表、インド各地公演 (4 都市・9 公演) 大学での「箏とラーガ」講習会は無事終了いたしました。



Bangalore School Music
公演ポスター



Bhopal Bharat Bhavan
公演の新聞記事(Hindi)



Bhopal Bharat Bhavan
公演の新聞記事(English)

2008年3月3日～22日、南インド4都市公演旅行

日本より4名+現地演奏家4名の Bangalore/Chennai/Cochin/Thrissur 公演など



南インド打楽器名手と競演
(Bangalore市・3月11日)



南インド総合文化センター劇場にて
邦楽・日印音楽・韓国舞踊との競演
(Chennai市・3月14日)



邦楽と南インド声楽と楽器の共同公演
(Thrissur市 3月18日)

「箏によるインド古典音楽」の演奏開発企画第3期



タゴール国際大学で東インドの名手と公演
(Santiniketan学園)

2008年1～2月、米国インド学会と日印音楽交流会共催でインド東西南北にて行われた日印演奏開発企画（第三期）の活動例をご紹介します。

